令和８年度　精神障害者社会参加支援事業　県央ブロック研修会

これからの精神看護

精神科医療や看護は、これまで「病気を治すこと」「病気を理解してもらうこと」を大切にしてきました。しかし、病気を理解することは、本当にそれだけで患者さんの幸せにつながるのでしょうか。今回の研修会は、「病識のパラドクス」や当事者のリカバリーストーリーを手がかりに、これからの精神看護について考えます。また、患者さんを支えるご家族にも、それぞれの生活や人生があります。患者さんと家族、双方の人生を大切にするために、これからの看護に何ができるのか、皆さまと一緒に考えてみたいと思います。

講師　筑波大学医学医療系精神看護学　准教授

菅谷　智一　氏

日時　令和８年１１月２９（日）

受付:午後１時～、午後1:３０～3:３０（予定）

会場　地域交流センターともべ「Tomoa」会議室

笠間市友部駅前１-１０　友部駅南口徒歩１分

参加費　無料　／定員　６０名

締め切り　令和８年１０月３１日（土）

主催　（一社）茨城県精神保健福祉会連合会

≪申し込み・問い合わせ≫

下記QRコード、あるいはお電話にてお申し込みください。

（留守の場合はメッセージを残してください）

TEL：０９０－５２５８－３４６４（みやび）

⇒裏面に地図を記載しています。